



BE THE INSPIRATION

国際ロータリー 第2570地区 第2グループ

# 志木ロータリークラブ

2018-19年度 国際ロータリー会長 バリー・ラシン 「BE THE INSPIRATION—インスピレーションになろう」  
 2018-19年度 第2570地区ガバナー 茂木 正 「想いを繋ぎ地域と国の発展に奉仕する」  
 2018-19年度 志木RC会長 林 康雄 「凛として挑む 一 衆の目的を目指し」

第2248回 例会

2018-9-19

- ◎司会 高橋健一郎 副会長
- ◎点鐘 林 康雄 会長
- ◎ソング 手に手つないで
- ◎ソングリーダー 宮原 俊介 会員
- ◎四つのテスト 宮原 俊介 会員
- ◎ゲスト 木村 美香様(志木市教育委員会)



ソングリーダー・四つのテスト 宮原俊介会員

## 「会長挨拶」

会長 林 康雄

本日は、「基本的教育と識字率向上月間」にちなんで、一人の少女の話をして頂きます。

2012年10月9日、パキスタンのスワートの街で下校途中のスクールバスに若い男が乗り込んできた。「どの子がマララだ？」周囲の視線が一人の少女に向いた。直後に3発の銃声が鳴り響いた。

パキスタン北部のスワート渓谷は山があり谷があり、クリスタルのように透明な湖が広がり野生の花が咲き乱れる地上の楽園だ。そんな楽園で育ったマララ・ユスフザイは15歳の少女。教育者の父を持ち学校と勉強が大好きな少女だ。父親は、女の子にも教育を受ける機会を与えるべきだと考え、学校を作り、男女の差別なく教育を行っていた。スワート

地域はアフガニスタンとの国境が近く、マララが10歳のとき、タリバンがスワート渓谷へやってきた。最初はラジオ放送を使い、人々に良い習慣を奨励し、ヘロインや大麻をやめようと呼びかけ、イスラム教の教義コーランを分かりやすく解説していた。当時役人の汚職やパキスタンの法律による紛争解決の遅さに辟易していた市民はしだいにタリバンを支持するようになっていった。ところが、タリバンは半年もしないうちに、テレビ、DVD、CDを市民から奪い、何から何まで禁じるようになり、少女が学校へ行くことも禁じ、歪めた独自解釈のコーランを強制した。しだいに、武器を持ったタリバンに対し警察も役所も見つめふりをするようになった。何故なら、タリバンに逆らえば襲われ首を取られ生首を街中にひきずり回されるからでした。

マララは声がとおる力強いスピーチが得意だった。成績優秀なマララは選ばれてテレビ局の取材を受けるようになった。BBCのウェブサイトにはペンネームで日記を掲載した。

「女子は学校へいくな」とタリバンから命令されたなかで、学校へ行く少女の日々の生活が書かれた日記は、国内外で注目されるようになった。とうとう、マララの学校も閉鎖される日が来た。ニューヨークタイムスのホームページに載せるドキュメントの制作のため、ひとりの女子生徒の学校最後の一日がそのまま取材されることになった。マララは「タリバンは私達が学校へ行くのをやめさせることはできたけれど、私達が勉強することをやめさせることはできません。」と言ったのです。

マララとマララの父親はメディアの取材を受ける機会が増え、進歩的な思想を伝える者として国内外で有名になっていった。しかし、それはタリバンの独自のイスラムの教義に反することになり、二人にはいつしかタリバンの手が忍び寄り、ついにタリバンから死の宣告をうけることになったのです。そして事件は起きた。3発の弾丸のうち一発がマララの額から脳の側面を貫通し左肩甲骨まで達していた。医師たちの的確な判断と諸外国の協力によりイギリスのバーミンガムの病院へ運ばれたマララは、一命をとりとめることになる。

9ヶ月後、奇跡的に回復したマララは、16歳の誕生日にニューヨークの国連本部でスピーチをすることになります。

「親愛なる兄弟姉妹の皆さん、忘れてはなりません。何百万もの人が貧困、不正、無知に苦しんでいます。何百万人もの子供たちが学校に通えずにいます。私達の兄弟姉妹が、明るく平和な未来を望んでいます。そのため、世界の無学、貧困、テロに立ち向かいましょう。本とペンを持って闘いましょう。それこそが、私達の最も強力な武器なのです。ひとりの子供、ひとりの教師、一冊の本、そして一本のペンが世界を変えるのです。教育こそ、唯一の解決策です。」と訴えました。

後に、マララさんは2014年史上最少年でノーベル平和賞を受賞しました。

## 「幹事報告」

幹事 市之瀬正靖

### 1. 地区事務所より2件受信

①9月のロータリーの友月間に寄せて

②埼玉古墳セミナーの案内

日時：10月21日(日) 受付登録 9:30

場所：さきたま古墳公園

集合場所：さきたま史跡の博物館手前

(旧レストハウス)

### 2. 米山記念奨学会よりハイライトよねやま222号(2018年9月13日発行)受信

### 3. 志木市長より平成30年度志木市要援護高齢者等支援ネットワークシステム会議協力団体等への案内受信

日時：10月15日(月) 13:00~16:30

場所：志木市民会館「パルシティ」ホール

## 第17回 いろは子ども文化賞 美術部門「ふるさと絵画賞」審査会

## 「卓話者紹介」

社会奉仕委員会 委員 榎本秀夫



## 「卓話」

### 「平成30年度 第17回いろは子ども文化賞 美術部門 志木ロータリークラブ審査会」

志木市教育委員会学校教育課  
指導主事 木村美香様

林康雄会長様をはじめ、志木ロータリークラブ会員の皆様には、いろは子ども文化賞に多大なご協力をいただき、誠にありがとうございます。

また日頃より、本市の教育に様々なご尽力

出席は会員の義務です。メイクアップを忘れずに！

第2グループ各RC 例会日・会場一覧

◇2248-2  
志木 RC 会報

■朝霞 RC (火) 12:30~ 埼玉りそな銀行朝霞支店 ■和光 RC (月) 12:30~ 郵便事業(株)和光支店3F  
■新座 RC (木) 12:30~ ベルセゾン ■志木柳瀬川 RC (木) 19:00~ ふれあいプラザ会議室(丸井8F)



をいただいていることも、深く感謝申し上げます。

いろは子ども文化賞は、志木の子どもたちに「ふるさとを愛し、見つけ、大切に作る心」を養い、「豊かな感性、表現力、創造性を育む」ために、平成14年4月に創設されました。おかげさまをもちまして、今年度で17回目を迎えることができました。

今年度も「志木の街」「夢」「絆」というテーマのもと、

作文部門 106点、科学部門 644点、  
写真部門 186点、そして美術部門 145点、  
総計 1,081点の応募がありました。

これまで、志木ロータリークラブをはじめとします地域の方々のご協力により、いろは子ども文化賞「美術部門」の優秀作品は、「ふるさと絵画集」という形で広く市民に親しまれてまいりました。

こうした作品集は、児童・生徒や保護者の方々にとりましても、大きな励みになるとともに、志木市の小中学校図工・美術教育の発展にも大きな力となっております。

今年度は、さらに11月2日から4日まで開催される、市民文化祭の中で展示されることとなり、より多くの皆様に子どもたちの作品を紹介することができるようになりました。

これもひとえに、皆様のご支援のたまものでございます。

ここに選ばれた20点の作品は、子どもたちの目線で「ふるさと志木」を描いたもの、「夢」「絆」をテーマに想像豊かに表現されて

いるものです。優劣つけがたい作品ばかりですが、志木市の子どもたちが思い描く、夢や絆を感じていただきながら、ご審査をいただければ幸いです。

結びにあたり、図工、美術教育をとおして、さらに心豊かな児童生徒を育ててまいりたいと思いますので、今後とも、皆様のご支援、ご協力を賜りたいと思います。

本日はどうぞよろしくお願いいたします。



選ばれた最優秀賞は後日志木市より発表・表彰されます

例会は変更になる場合があります。ご確認下さい。

■富士見 RC (金) 12:30～ 島田ビル1F

■朝霞キャロット RC (月) 19:00～ シティ・イン北朝霞 3階ホール

第2グループ各RC 例会日・会場一覧

■新座こぶし RC (水) 12:30～ ベルセゾン

### ぼく・わたしの未来デザインコンテスト

社会奉仕委員会 副委員長 上野剛彦

本日、併せて「ぼく・わたしの未来デザインコンテスト」ロータリークラブ賞作品の選考をお願いしました。選んでいた作品の発表と表彰式は、10月13日(土)13:30に志木市民会館パルシティで行われますので、ご都合のつく方は、是非ご参加下さい。



#### ●出席報告 出席向上委員長 高野邦夫

会員数44名 出席義務者35名 免除者9名

本日出席	本日欠席	本日出席率
35名	6名	85.37%

前々回 MU	前々回修正出席率	平均出席率
(6名中3名)	92.31%	93.66%